

釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔

▷下◁

趣味から質の高いバンドを目指す

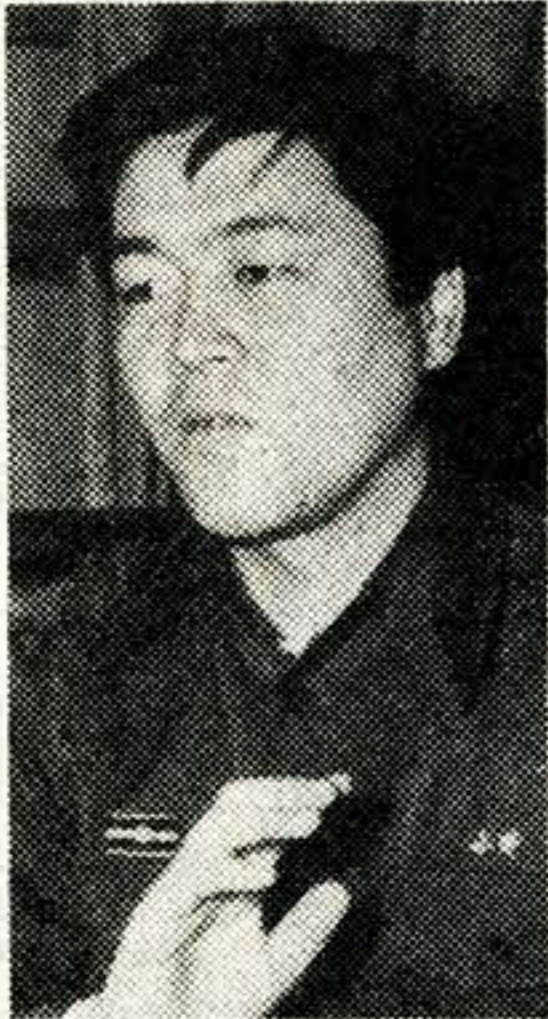
昭和五十年十月、市内各高校のOBと在校生を中心に「釧路青少年吹奏楽団」として発足。五十六年三月「釧路市民吹奏楽団」に改称し、本格的な音づくりが始まった。

團長の小野秀美氏（釧路市消防音楽隊長）は「結成当時は高校に吹奏楽部のないところもあり高校生が中心でスタートしたが、徐々に趣味から質の高いものを目指してきた。十年が過ぎて、いまでは社会人バンドとなったが、これからは音楽を通して社会に貢献する活動にも力を入れていきたい」と意欲的だ。

音 楽

釧路市民吹奏楽団

（團長・小野秀美さん）



社会活動にも貢献していきたい—という小野団長

演奏通じ地域に貢献

結成10年、積極的な活動

団員のやる気を盛り立て、運営面で手腕を振るったのが小野団長ならば、音づくりの指導者は五十六年から常任指揮者を務めている大場和典氏（釧路市立緑陵中学校教諭）。そして団員の目標となってい

柔らかい音づくりに意欲燃やす

常任指揮者の大場和典氏は「夜遅い練習は指導する側と



常任指揮者の大場和典さん

んばりを認めている。

釧路市民吹奏楽団は、これ

柔らかい音づくりを目指す

釧路市民吹奏楽団



まで十三回に及ぶ演奏会を開

催したほか、慰問演奏会（やすらぎ園、鶴ヶ丘学園）弟子屈中学校文化祭、働く青少年フェスティバル、氷まつり音楽会、北海道アイスフェス、管内青少年吹奏楽祭（白糠、足寄、釧路）成人式式典、市民運動会パレード、パステルタウンコンサートなど多彩な行事に参加。吹奏楽コンクールでは全道大会三回出場、アールサンブル・ソロコンテストでは金賞二回、銀賞四回受賞、そのほか釧路地区社会人楽友会フェスティバルにも参加している。

アッパレ君

木崎征夫

